

情報公開文書

臨床研究のお知らせ

当科では下記の研究を行っております。

研究課題名：可変軌道 Dynamic WaveArc を用いた放射線治療の実行可能性と線量投与正確性検証のための臨床研究

研究の目的：乳癌・脊椎転移への放射線治療は保険診療として広く行われています。昨今では機器の発展に伴い、隣接する正常組織にはなるべく照射せず、腫瘍の形状に沿って照射をすることが可能となりました。京都大学では、新規放射線治療装置 Vero4DRT を用いて、新しい照射方法 Dynamic WaveArc を開発し、短時間かつ高精度に上下方向などからのビームを回転しながら連続して照射することが可能となりました。DWA を用いることより、従来法と比較して正常組織に照射される放射線の量をさらに低くおさえられると期待されています。DWA は新しい照射法であるため実際に実行可能かどうか、また投与される放射線の正確性を確認するため、この臨床研究を計画いたしました。

研究の方法：放射線治療の前には CT を撮影して、放射線を当てる位置や方向を決める治療計画を行います。ここで、DWA と従来の放射線治療の両方の治療計画を作成し、DWA が従来法よりも同等もしくは優れていることを確認したうえで、臨床試験に参加することとなります。従来法と比べ病変にはしっかり照射され、副作用は同等もしくは少なくなると予想されます。治療回数や放射線の線量は患者さんごとに適切に検討・設定いたします。患者さんの診療録、治療に伴い作成した画像、放射線治療計画のデータを研究に利用します。本研究は、臨床研究審査委員会の審査を受け、承認後、医療機関の管理者の許可を受けて実施しています。研究参加への同意を撤回された場合はそのデータは使用しません。

研究期間：jRCT 公表日（2020年7月8日）から1年9ヶ月（2022年4月7日まで）

研究成果発表：学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

問い合わせ先：本研究に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科
溝脇 尚志
電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749